

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月13日

上場会社名 株式会社 サンエー化研
 コード番号 4234 URL <http://www.sun-a-kaken.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 次夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長兼経営企画部長 (氏名) 藤岡 貞章
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

上場取引所 JQ

TEL 03-3241-5702

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	27,030	—	△820	—	△696	—	△1,411	—
20年3月期第3四半期	27,805	6.5	263	△72.9	310	△70.8	484	△21.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	△125.51	—
20年3月期第3四半期	42.83	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第3四半期	33,260	14,976	44.7	1,354.41
20年3月期	36,709	16,844	45.6	1,478.68

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 14,860百万円 20年3月期 16,728百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	9.00	—	9.00	18.00
21年3月期	—	9.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	7.00	16.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有
 詳細は、本日公表の「配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,350	△10.6	△1,740	—	△1,625	—	△1,980	—	△177.17

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有
 詳細は、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
 - ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 - ② ①以外の変更 無
 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください
- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第3四半期 11,320,000株	20年3月期 11,320,000株
② 期末自己株式数	21年3月期第3四半期 347,977株	20年3月期 6,777株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第3四半期 11,242,640株	20年3月期第3四半期 11,313,223株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料の発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。
 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。
 なお、第2四半期連結会計期間(平成20年7月1日から平成20年9月30日まで)からは、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成20年8月7日内閣府令第50号)附則第7号第1項第5号ただし書きにより、改正後の「四半期連結財務諸表規則」を早期に適用しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計会計期間におけるわが国経済は、世界的な金融危機や急激な円高、株安により企業業績は急速に悪化してまいりました。また、これに伴う雇用不安や賃金低迷は個人消費を減退させ、景気の減速を強める状況となっております。

当社グループにおきましては、原材料価格が高止まりしており依然として厳しい経営環境が続くなか、特に機能性材料部門では、主要取引先である液晶パネルメーカーの減産や、急激な円高の影響を受け売上高は減少することとなりました。

また、取引先であるタック化成株式会社が、民事再生手続き開始の申し立てを行ったことによる貸倒引当金繰入額463百万円や、掛川工場の収益性評価の見直しによる減損損失630百万円等、多額の特別損失を計上いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計会計期間の業績は売上高27,030百万円、経常損失696百万円、四半期純損失1,411百万円となりました。

なお、各部門別の売上高は下記のとおりです。

部門別	売上高	構成比
軽包装部門	12,584百万円	46.6%
産業資材部門	6,503百万円	24.1%
機能性材料部門	7,419百万円	27.4%
その他	522百万円	1.9%
合計	27,030百万円	100.0%

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

資産は前連結会計年度末と比較して3,448百万円減少いたしました。主な減少は受取手形及び売掛金の減少1,167百万円、たな卸資産の減少494百万円、有形固定資産の減少1,720百万円であります。

負債は前連結会計年度末と比較して1,580百万円減少いたしました。主な減少は支払手形及び買掛金の減少1,653百万円であります。

純資産は前連結会計年度末と比較して1,868百万円減少いたしました。主な減少は利益剰余金の減少1,613百万円であります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計期間末に比べ135百万円増加し3,031百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は603百万円となりました。これは税金等調整前四半期純損失1,959百万円、仕入債務の減少額1,737百万円等の減少要因がありましたが、減価償却費1,393百万円、減損損失630百万円、たな卸資産の減少額494百万円、売上債権の減少額744百万円等の増加要因に相殺されたためであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は554百万円となりました。これは有形固定資産の取得による支出388百万円、投資有価証券の取得による支出149百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は85百万円となりました。これは長期借入金の借入による収入1,200百万円や長期借入金の返済による支出827百万円等によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成20年11月13日付け「平成21年3月期 第2四半期決算短信」において公表した業績予想を変更しております。具体的内容につきましては本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

なお、第2四半期連結会計期間からは「財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令（平成20年8月7日内閣府令第50号）附則第7号第1項第5号ただし書きにより、改正後の「四半期連結財務諸表規則」を早期に適用しております。

②たな卸資産

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号）が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ125,716千円減少しております。

③リース取引に関する会計基準の適用

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号（平成5年6月17日（企業会計審議会第一部会）、平成19年3月30日改正））及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号（平成6年1月18日（日本公認会計士協会 会計制度委員会）、平成19年3月30日改正））が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,030,957	2,895,912
受取手形及び売掛金	12,094,150	13,261,406
有価証券	599	597
商品及び製品	2,259,101	2,420,470
仕掛品	1,584,672	1,903,444
原材料及び貯蔵品	762,609	776,660
その他	329,465	531,127
貸倒引当金	152,034	10,616
流動資産合計	19,909,522	21,779,003
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,749,793	4,307,141
機械装置及び運搬具(純額)	3,849,751	4,703,154
土地	1,662,252	1,768,331
建設仮勘定	27,366	355,458
その他(純額)	182,839	58,568
有形固定資産合計	9,472,002	11,192,653
無形固定資産	100,754	95,989
投資その他の資産		
投資有価証券	2,578,039	2,914,342
長期貸付金	6,204	10,163
その他	1,659,099	717,152
貸倒引当金	464,996	4
投資その他の資産合計	3,778,347	3,641,653
固定資産合計	13,351,104	14,930,296
資産合計	33,260,627	36,709,300

(単位:千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,326,688	8,980,119
短期借入金	4,173,000	4,093,000
未払法人税等	3,195	5,145
賞与引当金	243,992	432,795
役員賞与引当金	-	6,200
その他	2,261,895	2,162,130
流動負債合計	14,008,770	15,679,390
固定負債		
社債	270,000	300,000
長期借入金	2,828,400	2,611,250
退職給付引当金	791,811	789,810
役員退職慰労引当金	157,293	195,225
その他	228,303	289,383
固定負債合計	4,275,809	4,185,669
負債合計	18,284,580	19,865,059
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,176,000	2,176,000
資本剰余金	2,135,839	2,135,839
利益剰余金	10,336,055	11,949,761
自己株式	116,870	4,642
株主資本合計	14,531,025	16,256,959
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	329,651	471,727
評価・換算差額等合計	329,651	471,727
少数株主持分	115,370	115,553
純資産合計	14,976,046	16,844,240
負債純資産合計	33,260,627	36,709,300

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	27,030,710
売上原価	25,452,127
売上総利益	1,578,582
販売費及び一般管理費	2,399,071
営業損失()	820,488
営業外収益	
受取利息	5,085
受取配当金	60,709
屑売却代	88,062
その他	86,987
営業外収益合計	240,845
営業外費用	
支払利息	106,784
その他	10,347
営業外費用合計	117,131
経常損失()	696,774
特別利益	
固定資産売却益	1,281
補助金収入	85,480
特別利益合計	86,761
特別損失	
固定資産売却損	2,814
固定資産除却損	1,313
投資有価証券評価損	248,147
会員権評価損	3,400
貸倒引当金繰入額	463,383
減損損失	630,119
特別損失合計	1,349,178
税金等調整前四半期純損失()	1,959,191
法人税、住民税及び事業税	14,286
法人税等調整額	563,132
法人税等合計	548,846
少数株主利益	730
四半期純損失()	1,411,075

(第3四半期連結会計期間)

(単位:千円)

	当第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)
売上高	8,161,221
売上原価	7,881,368
売上総利益	279,852
販売費及び一般管理費	860,874
営業損失()	581,021
営業外収益	
受取利息	2,392
受取配当金	28,659
屑売却代	33,105
その他	24,280
営業外収益合計	88,438
営業外費用	
支払利息	36,370
その他	4,999
営業外費用合計	41,370
経常損失()	533,953
特別利益	
固定資産売却益	1,281
特別利益合計	1,281
特別損失	
固定資産売却損	2,814
固定資産除却損	162
投資有価証券評価損	149,501
会員権評価損	1,150
貸倒引当金繰入額	463,383
減損損失	630,119
特別損失合計	1,247,131
税金等調整前四半期純損失()	1,779,804
法人税、住民税及び事業税	8,081
法人税等調整額	525,200
法人税等合計	517,119
少数株主利益	1,931
四半期純損失()	1,264,616

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

当第3四半期連結累計期間
 (自 平成20年4月1日
 至 平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失()	1,959,191
減価償却費	1,393,103
減損損失	630,119
退職給付引当金の増減額(は減少)	2,001
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	37,931
貸倒引当金の増減額(は減少)	606,409
受取利息及び受取配当金	65,795
支払利息	106,784
投資有価証券評価損益(は益)	248,147
固定資産除却損	1,313
会員権評価損	3,400
補助金収入	85,480
有形固定資産売却損益(は益)	1,533
売上債権の増減額(は増加)	744,715
たな卸資産の増減額(は増加)	494,191
仕入債務の増減額(は減少)	1,737,545
未払消費税等の増減額(は減少)	322,702
その他	174,989
小計	493,487
利息及び配当金の受取額	65,635
利息の支払額	104,209
補助金の受取額	85,480
法人税等の還付額	63,045
営業活動によるキャッシュ・フロー	603,440
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	388,186
無形固定資産の取得による支出	28,804
有形固定資産の売却による収入	7,053
投資有価証券の取得による支出	149,634
投資有価証券の売却による収入	369
貸付けによる支出	5,670
貸付金の回収による収入	10,679
投資活動によるキャッシュ・フロー	554,192

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間
(自 平成20年4月1日
至 平成20年12月31日)

財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(は減少)	80,000
長期借入れによる収入	1,200,000
長期借入金の返済による支出	827,850
社債の償還による支出	46,000
自己株式の取得による支出	112,228
配当金の支払額	186,670
少数株主への配当金の支払額	800
その他	20,651
財務活動によるキャッシュ・フロー	85,799
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	135,047
現金及び現金同等物の期首残高	2,896,510
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,031,557

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当社グループの事業は、化成品の製造・販売並びにこれら付随業務の単一事業であります。従いまして開示対象となるセグメントはありませんので記載は省略しております。

[所在地別セグメント情報]

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため該当事項はありません。

[海外売上高]

海外売上高は、連結売上高の10%未満のため記載は省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第3四半期連結累計期間(平成19年4月1日～12月31日)

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
	金額(百万円)
I 売上高	27,805
II 売上原価	25,244
売上総利益	2,560
III 販売費及び一般管理費	2,296
営業利益	263
IV 営業外収益	161
V 営業外費用	114
経常利益	310
VI 特別利益	516
VII 特別損失	13
税金等調整前四半期純利益	813
税金費用	325
四半期純利益	484

(2) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当社グループの事業は、化成品の製造・販売並びにこれら付随業務の単一事業であります。従いまして開示対象となるセグメントはありませんので記載は省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため該当事項はありません。

〔海外売上高〕

海外売上高は、連結売上高の10%未満のため記載は省略しております。